

# 東京都渋谷公園通りギャラリー

Tokyo Shibuya Koen-dori Gallery

当ギャラリーは、アートを通じ、ダイバーシティの理解促進や包容力のある共生社会の実現に寄与するため、アール・ブリュット\*等のさまざまな作品を紹介する展示事業や交流事業、普及事業を展開しています。

To contribute to the promotion of understanding of diversity and the realization of an accepting and inclusive society, Tokyo Shibuya Koen-dori Gallery conducts exhibition programs that present Art Brut\* and a variety of other works, interactive programs, and dissemination programs.

\*アール・ブリュット(Art Brut)とは、元々、フランスの芸術家ジャン・デュビュッフェによって提唱されたことばです。今日では、広く、専門的な美術の教育を受けていない人などによる、独自の発想や表現方法が注目されるアートを表します。

\*Art Brut is a term originally proposed by French artist Jean Dubuffet. Today, it broadly refers to art that is notable for its unique ideas and means of expression, often created by artists who have not received a formal art education.

## アクセス Access

### 電車でお越しの場合 By train

東急東横線・田園都市線、東京メトロ半蔵門線・副都心線渋谷駅 B1出口より徒歩 5 分

JR山手線・埼京線・湘南新宿ライン、京王井の頭線、東京メトロ銀座線渋谷駅ハチ公改札口より徒歩 8 分

Shibuya Station: 5 minutes' walk from B1 Exit (Tokyu Toyoko Line, Denen-Toshi Line, Tokyo Metro Hanzomon Line and Fukutoshin Line), or 8 minutes' walk from Hachiko Exit (JR Yamanote Line, Saikyo Line, Shonan Shinjuku Line, Keio Inokashira Line and Tokyo Metro Ginza Line).

### バスでお越しの場合 By bus

京王バスの新宿駅西口発【宿 51】、中野駅発【渋 63】【渋 64】、笹塚駅発【渋 69】、永福町駅発【渋 68】(すべて渋谷駅行)にて、バス停「神南一丁目」より徒歩 2 分(上り坂)、「渋谷区役所」より徒歩 5 分(下り坂)※都営バスもご利用いただけます。

2 minutes' walk (uphill) from Jin-Nan-Ichome (Jin-Nan 1) Bus Stop, or 5 minutes' walk (downhill) from Shibuya Kuyakusho(Shibuya City Office) Bus Stop by Keio Bus (to Shibuya Station): Juku 51 from Shinjuku Station West Exit, Shibu 63 and 64 from Nakano Station, Shibu 69 from Sasazuka Station and Shibu 68 from Eifukucho Station. \*Also accessible by Toei Bus.

当ギャラリーには駐車場がございません。お車でお越しの場合は近隣の駐車場をご利用ください。

There is no parking available at the Gallery itself. If visiting by car, please use a parking lot in the vicinity.

ウェブサイト  
(日本語)



WEBSITE  
(English)



## お問い合わせ Contact

東京都渋谷公園通りギャラリー

(公財)東京都歴史文化財団 東京都現代美術館  
Tokyo Shibuya Koen-dori Gallery, Museum of Contemporary Art Tokyo,  
Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture

Tel 03-5422-3151 Fax 03-3464-5241

Email [inclusion@mot-art.jp](mailto:inclusion@mot-art.jp)

<https://inclusion-art.jp>

Twitter @skdgallery

Instagram @skdgallery\_tokyo

〒150-0041 東京都渋谷区神南 1-19-8

渋谷区立労働福祉会館1F

Shibuya Workers' Welfare Hall 1F, 1-19-8 Jinnan,  
Shibuya-ku, Tokyo 150-0041



だれでもトイレ、車いす用昇降機をご利用いただけます。公園通り側の入口階段横に車いす用昇降機を設置しています。ご利用の際は併設のインターホンでお知らせください。設備の都合上、予めご連絡をいただけるとよりスムーズにご入館いただけます。

Accessible toilet and wheelchair elevator are available. For access to the elevator beside the stairs at the Koen-Dori Entrance, please use the intercom near the elevator. Access to the equipment can be further facilitated if you contact the Gallery ahead of your visit.

\*車いすをご利用の方は当ギャラリー Web サイトをご覧ください。

\* See the Gallery website for the best routes for wheelchair access.  
<https://inclusion-art.jp/access/>

2022

1.22(土) — 4.10(日)

東京都渋谷公園通りギャラリー

11:00 — 19:00 入場無料

休館日 1月曜日(ただし3月21日は開館)、3月22日

Saturday, 22 January — Sunday, 10 April 2022

Venue Tokyo Shibuya Koen-dori Gallery

11:00 — 19:00 Free admission

Closed Mondays (except 21 March) and 22 March

主催 (公財)東京都歴史文化財団 東京都現代美術館 東京都渋谷公園通りギャラリー

Organizer Tokyo Shibuya Koen-dori Gallery, Museum of Contemporary Art Tokyo, Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture

キュレーター  
都築響一  
+ 下町レトロ

東京都渋谷公園通りギャラリー

おかんの辞書に断捨離はない。荷物のヒモは丸めて引き出しにしまっておく。輪ゴムは水道の蛇口にかけておく。デパートの紙袋は冷蔵庫の脇に差しておく。とりあえず。そしてある日、おかんにひらめきの瞬間が訪れる——アレをああやったら、かわいいのできるやん！こうしておかんアートは生まれた（たぶん）。

おかんアートとは、文字どおり「おかんがつくるアート」のこと。メインストリームのファインアートから離れた「極北」で息づくのがアール・ブリュット／アウトサイダー・アートだとすれば、正反対の「極南」で優しく育まれているアートフォーム、それがおかんアートだ。見るひとを困惑させ、おしゃれ空間を一発で破壊し、勢いと熱さだけはあふれるほどあり、プロのアート作品にはもちろん、いまや「インサイダー」になりつつあるアウトサイダー・アートやアール・ブリュットにすら存在しない、おかん独自の破壊力。単一の価値観に収まりきらないことが現代美術の特質であるならば、おかんアートはもっとも無害に見えて、もっとも危険なアートフォームなのかもしれない。

都築響一

### キュレーター



都築響一

1956年、東京都生まれ。作家、編集者、写真家。1989～1991年にかけて美術選集「アート・ランダム」にて『アウトサイダー・アート』と『アウトサイダー・アートII』を出版し、欧米のアール・ブリュット／アウトサイダー・アートの動向をいち早く日本に紹介

した草分け的存在。今日に至るまで、都市のアウトサイドから民俗、ファッション、現代アートまで幅広い領域を横断しながら、独自の視点と経験を活かしたフィールドワークと発信を続けている。

<https://roadsiders.com/>

### 下町レトロに首っ丈の会



伊藤由紀（駄菓子とクレープの店「淡路屋」店主）と山下香（建築まちづくり事務所「状況設計室」代表）を中心に、兵庫県神戸市の兵庫区和田岬を拠点に活動する。2005年の設立から下町に残る人や空間といった地域資源を発掘し、下町遠足ツアーの開催や下町レトロ地図の出版を通して魅力を発信している。ツアーファン先のあちこちでおかんアートと出会って以来、おかんアートにのめり込む。現在、おかんアーチストと共に熱量と嗅覚を駆使しながら、月1回開催する「おかんアート大学」や年に一度のお祭りである「おかんアート展」に取り組んでいる。



- 1 《PP バンド犬》作者不詳
- 2 《あみぐるみ》作者不詳
- 3 《キューイーの服》作者不詳
- 4 《さるばば（置物）》香坂司登美
- 5 《折り紙手芸》藤井孝子
- 6 《毛糸犬》後藤知恵子
- 7 《軍手人形》香坂司登美、奥真知子
- 8 《タオル犬》香坂司登美
- 9 《ロールちゃん人形》新居光子
- 10 《松かさ飾り》西村みどり
- 11 《ロープ犬》作者不詳
- 12 《ロープ海老》作者不詳
- 13 《ビーズ孔雀》香坂司登美
- 14 《軍手人形》作者不詳
- 15 《キューイーの服》香坂司登美、作者不詳
- 16 《ソーパスケット》山田二三江

\*画像は出展作品とは異なる場合があります。

### 出展作家

伊藤由紀、奥真知子、尾本節子、木越貞子、久保山みどり、系谷美千代、香坂司登美、後藤知恵子、佐藤イエ、高桑義一、新居光子、西村みどり、藤井孝子、藤岡純子、松田多瑞子、森敏子、山田二三江、他、各地の皆さま

### 特別展示 おかん宇宙のはぐれ星

本展キュレーターの都築響一が近年注目する、おかんアートの感覚にかぎりなく近くありながら、独自の表現を展開する孤高の表現者3名を特別展示にて紹介する。

#### 荻野ユキ子

1934年生まれ。名画座・早稲田松竹の館内清掃に長年従事しながら、劇場入口やトイレの棚を飾るオブジェを自発的につくってきた。総菜用の食品トレー、刺身についてくるプラスチックの笹、牛乳パック、お菓子のオマケ……日常的な廃材だけを使って組み上げられた、それはなんとも楽しいミニ・ジオラマだった。



#### 嶋 暎子

1943年生まれ。高校時代に独学で切り絵を始める。広告制作会社などを経てフリーで版下の作成に従事。50代になって仕事を引退し、切り絵、貼り絵、コラージュに専念するようにな。それらの作品と、コロナ禍の家ごもり期間につくった新聞紙バッグを2021年10月に世田谷美術館分館で展示。SNSで話題を集めた。

#### 野村知広

1972年生まれ。大阪にある西淡路希望の家・美術部所属。イラストや刺繡にくわえて、広告チラシを折つてつくる「チラシ箱」を日々大量に生み出している。あまりに実用的すぎて長く作品として認知されてこなかったが、畳んだ紙束のカラフルな美しさに魅せられた施設職員によって収集・保存され世に出ることになった。



### 関連イベント

スペシャルトークやギャラリートークを予定しております。詳細は当ギャラリーWebサイトをご覧ください。

### チラシ箱の折り方

本チラシ裏側のポスター面の折り線に沿って折ると箱ができるがります。折り順は右のQRコードから確認できます。

図版は「チラシ、チラシ、チラシ箱」(2019年、制作: ASHITA no HAKO BOOKS、明後日デザイン制作所)より。

